

「菅原バイナリー発電所」 自治体と協働した日本初の地熱発電

日本初の5,000kW級の地熱バイナリー発電所であり、地元自治体の九重町と当社が協働して行う地熱発電事業です。

九重町が所有する地熱井から蒸気・熱水の提供を受け、当社が発電します。

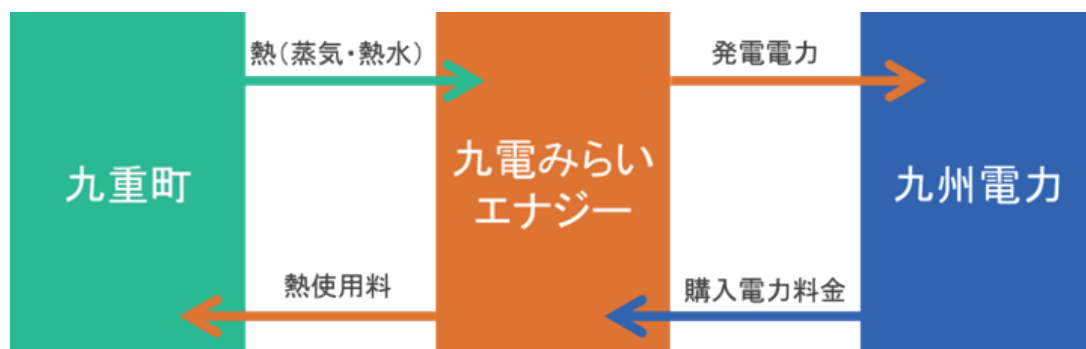
発電した電気は当社が九州電力(株)へ売電し、売電で得た収入から九重町に熱使用料をお支払いすることで、当社も九重町も安定した収入を得ながら、純国産エネルギーの有効活用に貢献しています。

また、九重町のご協力を得ながら温泉モニタリングの実施や地元への説明を行うなど、地域との共生にも取り組んでいます。



- 【設備容量】 5,000kW
- 【所在地】 大分県玖珠郡九重町
- 【運転開始】 2015年6月
- 【事業会社】 九電みらいエナジー(株)

事業スキーム



協働事業者(九重町)のコメント

九重町さまより「菅原バイナリー発電事業と地熱開発に関する九重町の思い」について、コメントをいただきました。

九重町は、これまで3本の地熱井を保存管理してきました。この地熱井の有効活用を図るため、平成22年より九州電力(株)に調査を依頼し、今回、本格的な稼働となりました。

これにより、町の収入も増加し、住民福祉の向上に寄与することができます。

今後も、地域住民と企業との共存共栄を図り、発電が長期にわたって継続できるよう、町も住民や企業と協働で事業実施していきます。

これからの地熱開発については、既存の地熱発電所に影響がないように配慮するとともに、限りある資源を大切に、地熱の有効利用を図ります。また、行き過ぎた開発とならないように努め、豊かな自然を守りながら町に対してメリットの生じる開発となるように進めていきます。

有難うございました。九電みらいエナジーは、これからも九重町の皆さまとともに地域発展のため努力してまいります。